

高山植物保護のための課題などをまとめたポスター発表に臨む生徒＝静岡市役所静岡庁舎

高山植物 守るには？



静岡市役所で市内高校生

対策や課題、ポスター発表

静岡市内の高校生が南アルプスの高山植物の保護について学ぶセミナーの学習成果発表会が12日夜、市役所静岡庁舎で開かれた。3校の生徒が今夏に南アルプスを訪れた体験を交え、植物を守るために必要な対策や課題をまとめたポスターの発表に臨んだ。

静岡、静岡東、静岡聖光学院の3校で山岳部や登山部に所属する15人が8月18～20日、南アルプスで防鹿柵の内と外の植

生の違いなどを調べた。現地では静岡大の増沢武弘教授の指導を受け、防鹿柵の維持管理作業も体験した。

発表会では学校や学年に分かれてポスターを披露した。生徒は現地で撮影した写真を活用したポスターを紹介しながら

「防鹿柵だけでは植物を守る根本的な解決にはならない」などと課題を示した。すぐにできる対策として「山を歩くときはマナーを守るべき」などと述べた。

セミナーは若い世代に高山植物保護の重要性を知ってもらおうと2013年度から行われている。こしは7月に事前学習会を開き、3校の計約60人が南アルプスの成り立ちやユネスコエコパークについて理解を深めた。

(政治部・船田枝里)

2019年12月13日朝刊

①静岡市が高校生に対して、高山植物保護に関するセミナーを開催する意義を考察せよ。

()

②ユネスコエコパークについて調べ、その意義を考察せよ。

()

③ニホンジカが増えすぎてしまった原因と対処法を考察せよ。

()

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石 克巳(静岡県立静岡高校 教諭)

(高校/国語)

<参考>①＝地域行政学、植物学、生態学に関する問題、②＝国際関係学、環境学に関する問題、③＝動物学、地域行政学、環境学に関する問題